

## 後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の概要

平成23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の総額は、6億2,900万円で、前年度の6億6,000万円に比べて3,100万円の減となり、伸率は4.7%の減となっています。

神奈川県後期高齢者広域連合への事務費負担金（共通経費）は、負担割合の変更により負担額が減となっています。また、保険料は、平成22年度からの保険料率の見直しに伴う当初見込額の算定方法が前年度と変更となったことにより減額となっています。

歳入については、保険料は3億1,172万円で前年度に比べ1,613万円の減（対前年度伸率4.9%減）、一般会計繰入金は3億1,592万円で1,517万円の減（同4.6%減）となっており、その内訳は、医療給付費定率負担が2億4,791万円で646万円の減（同2.5%減）、保険料の軽減分が4,444万円で360万円の減（同7.5%減）、広域連合の事務費負担金（共通経費）が1,073万円で328万円の減（同23.4%減）、町事務費が1,283万円で183万円の減（同12.5%減）となっています。

歳出については、後期高齢者医療広域連合納付金は6億1,481万円で、前年度に比べ2,947万円の減（同4.6%減）で、保険料が減となったことによるものです。納付金の内訳は、保険料負担金が3億1,172万円で1,613万円の減（同4.9%減）、保険基盤安定制度拠出金の県負担分が3,333万円で270万円の減（同7.5%減）、町負担分が1,111万円で90万円の減（同7.5%減）、広域連合の事務費負担金（共通経費）が1,073万円で328万円の減（同23.4%減）、医療給付費定率負担が2億4,791万円で646万円の減（同2.5%減）が主なもので、歳出全体の97.7%を占めています。

## 後期高齢者医療特別会計

### ○ 最近年度予算額

年 度	歳入歳出予算額	平成20年度を100とした指数	対前年度伸率
平成20年度	529,000	100.0	—
平成21年度	645,000	121.9	21.9%
平成22年度	660,000	124.8	2.3%
平成23年度	629,000	118.9	△ 4.7%

### ○ 前年度対比表

(歳入)

(単位:千円 %)

款 別	平成 23 年 度		平成 22 年 度		比較増減	対前年度伸率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1. 保 険 料	311,715	49.6	327,844	49.7	△ 16,129	△ 4.9
2. 繰 入 金	315,921	50.2	331,092	50.2	△ 15,171	△ 4.6
3. 繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4. 諸 収 入	1,363	0.2	1,063	0.2	300	28.2
歳 入 合 計	629,000	100.0	660,000	100.0	△ 31,000	△ 4.7

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

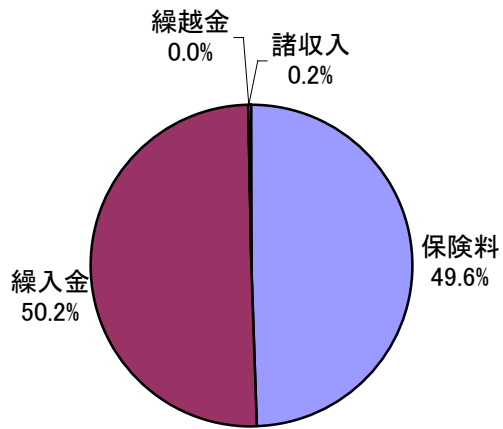
(歳出)

(単位:千円 %)

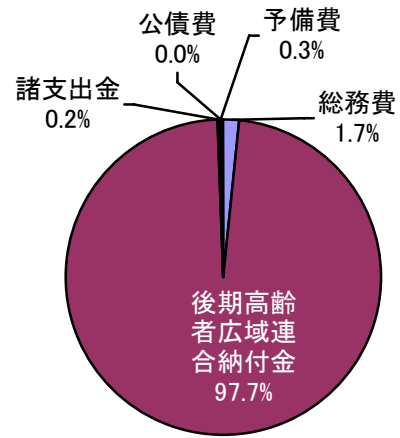
款 別	平成 23 年 度		平成 22 年 度		比較増減	対前年度伸率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1. 総 務 費	10,836	1.7	12,670	1.9	△ 1,834	△ 14.5
2. 後期高齢者医療 広域連合納付金	614,812	97.7	644,278	97.6	△ 29,466	△ 4.6
3. 諸 支 出 金	1,351	0.2	1,051	0.2	300	28.5
4. 公 債 費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5. 予 備 費	2,000	0.3	2,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計	629,000	100.0	660,000	100.0	△ 31,000	△ 4.7

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

### 歳入の構成比



### 歳出の構成比



※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。